

# 令和4年度 第1回社会教育委員会会議録

開催日時：令和4年5月23日（月）  
午前10時00～11時35分  
開催場所：市役所災害対策室

- ・開会あいさつ
- ・議題
  1. 令和3年度第6回社会教育委員会会議録の承認について
  2. 令和4年度恵那市社会教育行政の方針と重点について
  3. 令和4年度社会教育委員会の活動内容について
    - ・令和3年度地域学校協働活動の取組報告について
    - ・恵那市家庭教育支援計画の進捗管理について
- ・その他
  - ・令和4年度岐阜県優良社会教育委員表彰の被表彰者の決定について
  - ・恵那市ふるさと学習読本『vol.9 恵那峡と大井ダム』の配布
  - ・第18回恵那市少年の主張大会の参加依頼について
  - ・中村いてう歌舞伎舞踊公演及び芝居小屋五座巡業について
- ・閉会あいさつ

・出席者の数：社会教育委員14人中12人、事務局6人（以下のとおり）

	役職	氏名	選出団体等	出欠
1	委員長	林 達夫	恵那市三学のまち推進委員会委員	出席
2	副委員長	磯部 彰	恵那市図書館協議会	出席
3	委員	山内 正一	学識経験者	出席
4	委員	山田 恵市	恵那市文化振興会	出席
5	委員	相原 正文	恵那市青少年育成市民会議	出席
6	委員	森川 伸江	保育士・幼稚園教諭経験者	出席
7	委員	柘植 俊夫	恵那市民生委員児童委員協議会	出席
8	委員	柘植 弘成	恵那市壮健クラブ連合会	欠席
9	委員	百松 義朗	NPO まちづくり団体	出席
10	委員	田口 容子	放課後子ども教室コーディネーター	出席
11	委員	各務 周和子	保育士・幼稚園教諭経験者	出席
12	委員	伊藤 幸正	恵那ライオンズクラブ	欠席

13	委員	阪上 美代子	恵那市スポーツ推進委員連絡協議会	出席
14	委員	土屋 真由美	校長会代表	出席

事務局

1	教育長	岡田 庄二	恵那市教育委員会	出席
2	課長	柄澤 史枝	生涯学習課	出席
3	課長補佐兼係長	伊東 将昭	〃	出席
4	主査	今井 ちえこ	〃	出席
5	社会教育指導員	遠藤 滋	〃	出席
6	社会教育指導員	小坂 忠昭	〃	出席
7	社会教育指導員	和田 克子	〃	欠席
8	社会教育指導員	太田 礼子	〃	欠席

・開会（事務局）

定刻となりましたので、これより令和4年度第1回恵那市社会教育委員会を開催させていただきます。私は、生涯学習課の伊東と申します。当委員会の事務局を務めさせていただきます。それでは、最初に資料の確認をさせていただきます。会議資料として会議次第が表紙のホッチキス止め資料と、別留めで令和3年度第6回社会教育委員会会議録があります。地域学校協働活動の取組は冊子になっています。新任の委員様には第5期恵那市家庭教育支援計画をお配りしています。他、封筒に入っているのが『ふるさと学習読本』、ご案内として中村いてうさんの公演チラシを配布させていただきます。不足の方がお見えでしたらご連絡ください。

開会に先立ちまして、事務局よりお知らせがあります。新型コロナウイルス感染症対策のため、会議室入室前の「検温」及び「手指の消毒」にご協力いただきありがとうございます。会議中の「マスクの着用」にもご協力いただくようお願いします。また、例年ですと慣例により、会議次第の裏面に記載しました「市民憲章」「三学のまち恵那宣言」の唱和を開会前に行っておりましたが、飛沫感染防止のため、中止とさせていただきます。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

それでは、最初に委嘱書を交付させていただきます。昨年度末で任期満了を迎えられた委員が3名ございました。令和4年度から新たにお二人が新任、お一人が再任となっております。恵那市社会教育委員条例により、教育委員会が委嘱するとなっておりますので、岡田教育長より交付させていただきます。（岡田教育長から3名に手渡す）

続きまして、岡田教育長から挨拶申し上げます。

・あいさつ（教育長）

皆さんこんにちは、4月から教育長を務めさせていただきます岡田です。よろしく申し上げます。今、新しく選ばれた2名、再任された1名の方に委嘱書を交付

させていただきました。委員を引き受けていただき、ありがとうございます。

昨年度は地域学校協働活動について委員の皆様には研修等を行っていただきました。また、各地域では活動が始まり実績が表れてきております。担当から聞いたところ、例えば中野方では、望郷の森でのキャンプが、中学生が小学生を指導する形で行われました。武並では地域ぐるみのラジオ体操が行われました。三郷では、小学生はいろいろな活動に参加してくれるけれど、中学生になると地域から遠のいてしまうということで、小学校を卒業するタイミングで地域の方が小学校へ行き、6年生に地域のことを様々お話しいただいて、地域についての意識を強めてから中学校へ進学するという取り組みをしていただいています。山岡小・中では、地域の方が学校に対して「こんなことやったらどうか」と積極的に働きかけていただいたり、小中学校の発表会を地域の方に聞いていただいたりしています。他にもあると思いますが、このように様々な活動が行われています。本年度は、さらに活動が充実するように方策を議論していただく段階に入ってきていると思います。

また、家庭教育支援計画は、今年度第5期の2年目となりますが、進捗状況を検討いただいて事業に活かしていきたいと思っております。委員の皆様方にはそれぞれのお立場でご出席いただいておりますので、ご意見をいただきながら、社会教育行政を充実させていきたいと願っております。委員の皆様には何かとお世話になりますが、よろしく願いいたします。

(事務局)

岡田教育長ありがとうございます。

続きまして、林達夫委員長よりご挨拶をいただきたいと思っております。

(委員長)

こんにちは。まだコロナが高止まりで、恵那市もこども園の方で大変流行ったようです。今日はまた減ってきていますが、ゼロというのは難しいところです。何とか乗り越えてゼロになるといいなと思っております。先日、中津川で陸上の記録会がありましたが、まだ規制が厳しいと感じました。コロナ流行以前のように、マスクをしなくてもよくなるといいと思います。相手との距離があると繋がりが薄れてやりにくいですし、社会教育は特に人間と人間との付き合いが重要ですので、以前のように身近にマスクなしで自由に話せると、距離も縮まると思いますが、今は、現状でできることを充実させたいと思います。

地域学校協働活動について、恵那市は東濃地区の中でも先進的に行っています。岐阜県全体を見ても恵那市はすごいと耳にします。昨年度は研修が中心でしたが、今年度は事務局でも考えていると思っておりますが一歩進めた実践、発展に向けて、私たちがどう協力できるか話し合いを深めていきたいと思っております。

家庭教育支援計画については、毎年評価をしながら次年度の重点を確認し、社会教育委員の立場で意見を伝え、恵那市の家庭教育の充実に向けて進めていけたらと思います。

(事務局)

林委員長ありがとうございました。

続いて、令和4年度の委員名簿を資料3ページ目につけています。新年度最初の会ですので、恐れ入りますが、名簿の順に一言ずつ自己紹介をお願いします。

(委員長)

林達夫です。8年目になります。もう1期くらいやらないといけないかと思いますが、その間に委員長交代を考えております。求められるうちが花だと思っておりますので、これからも委員を続けていきたいと思っております。

(副委員長)

副委員長を仰せつかっております磯部彰です。図書館協議会から参加させていただいております。よろしくお願いします。

(委員)

山内正一と言います。先輩に導かれて4年目になります。年数を重ね少しずつ分かってきたところです。今年も一生懸命勉強して、意見を述べたいと思っております。よろしくお願いします。

(委員)

山田恵市です。よろしくお願いします。文化振興会は自主事業が次々と延期・中止になって、2年間何もやっていない気持ちになっておりましたが、俳句の会等それぞれ独立した会があり、やれる範囲で着々と活動しておりますし、そういう団体が地域にも貢献できると思っております。先日の理事会で、2月の伝統文化芸能大会まで、日にちが変わってもやりきる決心をしましたので、皆様応援よろしくお願いします。

(委員)

相原正文と申します。よろしくお願いします。2年目です。青少年育成の立場で、大井町の役員を受けてこちらに入りました。昨年はなかなか会議に出席することができませんでしたが、今年度は何とか都合をつけて参加し、地元の青少年育成に貢献していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

(委員)

森川伸江と申します。よろしくお願いいたします。家庭教育の分野から関わらせていただいております。前年度6回目の会議は仕事の都合で出席できませんでしたが、資料を拝見しました。林委員長の仰るとおり、家庭教育を何か焦点化していくと思います。恵那市家庭教育支援計画策定に関わらせていただきました。当時は今まであることを大事にするということで、内容を変更せず1年1年検証していくということで資料を作らせてもらいました。「幅広く」「これまでやってきた」ということも大事ですが、前教育長の話にもあったように、「虐待は減ったが、ひきこもりが増えている」ことについて、ひきこもってからどうするかではなく、ひきこもる前にできること、乳幼児の時から入り込んでいけることがあるといいなと思っております。

(委員)

柘植 俊夫と申します。民生委員の会長をしております。よろしくお願いいたします。  
(委員)

百松義朗と申します。今年度よりよろしくお願いいたします。地域学校協働活動関係者ということで参加しています。私は教育とは縁遠いのですが、そんな人こそ地域学校協働活動に関わってほしいと言われております。勉強させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

(委員)

田口容子です。放課後子ども教室の代表として参加させていただいております。大井小学校、大井第二小学校のコーディネーターをしております。よろしくお願いいたします。

(委員)

各務周和子です。保育園、幼稚園と勤務し、その後元気プラザにいました。自分への勉強と思い、参加させていただいておりますが、なかなか難しいです。どうぞよろしくお願いいたします。

(委員)

阪上美代子と申します。恵那市スポーツ推進協議会の代表として参加しています。個人的には、大井町のスポーツ少年団の指導者をしていました。スポーツ推進員・少年団の指導を40年以上してきましたが、お声がかかるのは幸せだと思っております。できる限りいろんなことを続けさせていただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

(委員)

武並小学校校長の土屋真由美と申します。校長会代表ということで、今年度初めて参加させていただきます。たくさん勉強させていただいて、校長会や学校に広めていけたらいいなと思っております。よろしくお願いいたします。

(事務局)

事務局の紹介をさせていただきます。

(教育長)

教育長の岡田です。いろいろとお世話になりますが、よろしくお願いいたします。

(課長)

4月から生涯学習課でお世話になっております、柄澤史枝と申します。よろしくお願いいたします。昨年度1年、東野振興事務所で地域学校協働活動に少し関わってきました。今後も勉強していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

(事務局)

事務局を務めさせていただきます、生涯学習課の伊東将昭と申します。今年度4月から生涯学習課に参りました。恵那市の合併前に恵那市の新規職員として採用された際、当時の社会教育課へ配属となり、社会教育委員会に携わらせていただいた経験があります。ただ、もう二十数年たっており、社会教育、生涯学習を取り巻く環境も変わってきておりますので、改めて勉強させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

(事務局)

生涯学習課の今井と申します。事務局を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

(事務局)

社会教育指導員の遠藤滋と申します。よろしくお願いいたします。

(事務局)

4月から新しく担当となりました社会教育指導員の小板忠昭と申します。よろしくお願いいたします。

(事務局)

本日ご欠席ではありますが、柘植弘成委員、伊藤幸正委員にも本年度引き続きお願いしております。また、事務局の和田克子社会教育指導員は、主に放課後子ども教室を担当しています。太田礼子社会教育指導員は、家庭教育・乳幼児学級を主に担当しています。

以上の皆さんで今年度進めてまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

次第の5番、社会教育委員の役割についてです。ご承知のこととは存じますが、年度初めですので、社会教育委員とはということを説明させていただきます。(資料4ページのとおり説明)社会教育法及び恵那市社会教育委員条例は5ページのとおりです。

ここまでで、ご意見ご質問等ありましたら承ります。

<意見無し>

(事務局)

それでは、議題に入らせていただきます。条例にありますように、委員長が議長を務めるとありますので、この先は林委員長に議事進行をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

## ・議題

### 1. 令和3年度第6回社会教育委員会会議録の承認について

(委員長)

会議録は事前に配布されておりますが、変更点・気になる点ありましたら、会終了後に事務局へ提出してください。

### 2. 令和4年度恵那市社会教育行政の方針と重点について

(委員長)

議題2について事務局より説明をお願いします。

(事務局 伊東)

(資料 6 ページ・7 ページのとおり説明)

8 ページに『東濃地区 生涯学習・社会教育推進の方針と重点』、9 ページ・10 ページに『岐阜県 生涯学習・社会教育振興の方針と重点』を参考資料として付けましたのでご覧ください。

9 ページ中ほどにあります、県では令和 4 年 10 月に向け『岐阜県生涯学習振興指針』の改定を進めております。内容が明らかになり次第、社会教育委員会でも説明させていただきます。恵那市の社会教育にも反映していきたいと思っております。説明は以上です。

(委員長)

ありがとうございます。ご質問やご意見はありますか。

(委員長)

壮健クラブ代表の柘植弘成委員が欠席ですが、高齢者の教育がいつも弱いと感じています。役についておられない一般の高齢者の方が力を発揮する機会が少なく、自分も壮健クラブでは花壇づくりや草刈りなど奉仕作業ばかりしており、それでいいのかなと疑問に思います。私の意見になりますが、壮健クラブと行政が連携を取りながら、いい方策を探れたらいいなと思います。死ぬまで現役でいられるよう、生きがいを持てるような仕組みを考えていただけますか。柘植俊夫委員、いかがでしょうか？

(委員)

私も壮健クラブでは奉仕作業が多いですが、中野方では「まめくら（まめに暮らそまい会）」の中に第三木曜会というのがあり、月に 1 度集まって活動しています。12 月にはしめ縄を作ります。本来の目的は、独居老人の集まれる場所にしたかったのですが、実際は元気な人の集まりになってきています。

(委員長)

地域によって大分違いますね。百姓があると忙しくて充実していますが、町の人たちはどうしているのかなと思います。各地域の情報がわからないので、集めて紹介していただくことも大事かと思っております。副委員長いかがでしょうか。

(副委員長)

以前はどんな高齢者でも全世帯順番に班長や自治会長を回していました。3, 4 年前、みんなの前で話ができないという方の順番になった時に、自治会で協議しました。そこで、「免除することは差別になるのではないか」となり、順番通りやってもらおうとなり、副を付けフォローする形をとったのですが、ほとんど副がやっていました。文句も言わずやってもらいましたが、1 年後、また話し合い、「80 歳過ぎたら役員はやらなくていい」という形になりました。そうすると、本人は喜んでいますが、地域の人と関わる機会がなくなってしまい、高齢者が地域で顔を出していくことが少なくなってしまうと感じています。

(委員長)

地域事情があり、一律にやろうと思うと難しいことです。山岡はいかがでしょうか。

(委員)

昔と違ってきたのは、みなさん長生きされることもあり、高齢者と呼ばれる人の範囲が広がってきています。昔なら60歳過ぎたらいろいろな役を引き受けてきましたが、今は80歳過ぎても元気な方もいますが、人によってできること・できないことの幅が出てきました。人は減っても役は減らないので、やれる人にすべて覆いかぶさっています。60歳を過ぎた男性に役が回ってくるので、女性もできるように制限を緩くできないか検討しています。

(委員長)

今の話は、生涯学習課だけでなく、市行政全体に関わることです。健幸都市宣言もしているので、高齢者が生きがいをもって、楽しく、充実し、健康で長生きできるようにどうすればいいか、恵那市として検討していただきたいと思います。女性区長などはめったにありませんね。

(委員)

私たちの地区も、80歳までという話がありますが、出られる人は出てきています。高齢で、子どもたちも近くにいないためどうしてもできないと言われると、次の人に回すなど柔軟にやっています。ただ、高齢者が多く、みんなできないと言われると、組のことは何とか協力してやっていくしかないところです。コロナ禍で会議も短く、世間話も少なくなってしまったので、早く治まってくれるといいと思います。

(委員)

子どもも高齢者も、人が人生を歩む中で、(行政は)課で決められています。一人の子どもに対して、保育園と幼稚園で管轄が違いますが、現場ではその子の生きていく道筋というところで繋がってほしいと思っています。民生委員をやる中でも、包括支援センターや社社会福祉協議会との関係性も大きいと感じます。**【人づくり】**を軸にして、他部署との繋がりを見つけてほしいです。独居の方の見回りに行くと、本当に孤独で、待っていてくれます。1日声を出さずに終わる日もあると言われます。これは自治会の問題でもあります。民生委員だけに任せないようにと話しているところですが、若い人たちにはなかなか入りにくいところもあるので、社会福祉協議会、包括支援センター、生涯学習課が連携をもう少し取り合っているようなことが大事だと思います。批判をするわけではありませんが、ブックスタートで絵本を配っても、「絵本を読む」という親の意識がないと活かされていない気がします。本を配った後、親はどうしているのかを追っていきけるといいのではないのでしょうか。

(委員長)

まだ意見があると思いますが、行政全体として乳幼児から高齢者までどう関わっ



ていくか、孤独では健幸で長生きできませんので、そんな話し合いを数年かけてお願いしたいと思います。

(事務局)

今、ご意見いただいたとおり、生涯学習課だけの問題ではなく、自治会の存続などは地域振興課でも問題になっております。高齢者については福祉関係、包括支援センターや社会福祉課で取り扱っています。様々な部署との連携が必要となりますので、時間がかかるとは思いますが、重要テーマとして市役所全体でとらえていきたいと思っています。

### 3. 令和4年度恵那市社会教育委員の活動内容について

- ・令和3年度地域学校協働活動の取り組み報告について

(事務局)

令和3年度地域学校協働活動をまとめた冊子をお配りしました。先日、林委員長にもご出席いただきましたが、東濃5市の社会教育委員の代表と公民館長と事務局が参加して、東濃地区の社会教育振興協議会という組織の会議がありました。その会の会長、土岐市の社会教育委員長さんにこの冊子をお渡ししたところ、絶賛いただきました。恵那市が先頭を切って進められる背景には、コミュニティスクールが全小中学校で指定され、4年経ち、進んでいることが大きいです。他市はコミュニティスクールを指定して始める段階です。13地区で、岩村は小中1人ずつ、計14名の地域学校協働活動の推進員さんを推薦いただき、委嘱をさせていただいて1年過ぎました。任期は2年ですが、大井、山岡の推進員さんが私事都合により1年で変わられました。飯地は塾長さんが推進員を兼ねておりましたが、今月末で塾長を退かれるため、変わる予定です。串原も今後変わる予定です。

このように、いろいろな事情で変わられることもありますが、何とかみなさんで取り組んでもらっております。先日の東濃地区の会議の場でも言いましたが、今のところは、学校運営協議会に推進員さんが入っていただき、推進員さんが学校の取り組みと地域のメンバーを取り持つようなコーディネーター的立場をとれるようになりました。いろいろな人に理解をしてもらう必要があります。学校へ行っても、校長先生や教頭先生といった管理職の先生は推進員さんを見るとすぐわかってくれますが、一般の先生とは面識がありません。武並小では、夕方4時ごろに推進員、コーディネーターに来校してもらい、先生方との交流をする会を持ってもらいました。多くの学校でPTA、児童生徒に理解していただき、関わっていただくことが必要となります。

東濃地区の生涯学習・社会教育推進の方針に「地域社会人の育成」とありましたが、地域学校協働活動をすることが地域社会人の育成に繋がると思っています。教育長が話された事例の中で後継者の育成がありました。三郷の例では、小学生のうちには地域との関わりがもてますが、恵那西中学校へ行くことで、自分の育った地域

から離れてしまいます。部活動も忙しくなる中で、地域のことに関わる時間も機会もなく、心も離れてしまう状況をなんとかしようと、塾長さんは中学生を集めて何かしようと試みるものの、コロナ禍ということもありなかなか集まりませんでした。現在の中学2年生が、6年生の卒業間際、「三郷の自慢できること」を伝えようと、三郷で頑張っている大人や名古屋から移住してきた人が三郷の良さを話しました。地域を出ていく前に、地域の良さを心に留めてもらう取り組みを、昨年度も継続してやっています。これも後継者の育成で、地域の担い手を若いうちから育成していくことをしています。

また、家庭教育の問題もありましたが、家庭教育支援、地域での困りごと、ひきこもりが多いなど、地域での課題を出し合う中で、自分たちは今何ができるのかを話し合い、取り組みを考えることもできるといいなと思います。学校運営協議会などでいろんな人が集まり、子どものこと、高齢者のこと、地域のこと、いろんな問題を出し合う中で、自分たちができることは何かという話し合いができることで、取り組みが始まると思っています。推進員さんは決まっています。コーディネーターは、例えば大井は8名、三郷は3名、地域から推薦いただき、教育委員会で依頼しています。他地域もできるところは進めていただきたいと思います。東中、西中、北中は、いくつかの小学校から集まってきます。この中学生を交えた活動をどうしていくか、話をしているところです。以上です。

(委員長)

ありがとうございました。昨年度の実績から、良さ、課題を話していただきましたが、昨年度の活動を私たちも、見て、学んできました。相原委員いかがでしょうか。

(委員)

私も会議になかなか出られませんでした。前推進委員の方は小学校の太鼓に尽力され、ボッチャを推進しており、学童の子どもたちとも活動していました。大井地区の高齢者組織若葉会と子どもたちが一緒にできるボッチャを、スポーツクラブと関係して推進していけたらと思っています。恵那東中が軸となる防災活動をやりたいのですが、リーダーシップをとる人がいないとできません。大勢集めるより、親子で参加してもらえ家庭を大事にしながらやる予定です。

各地区にいる青少年育成の役員の会議が5月に開催され、年間1回のみという現実もあり、昨年度は、今まで青少年育成でやってきたマスカミをやめて、青少年育成委員さんと花壇に花を植えたり、大井小の畑を耕すために耕運機を使える方に来ていただいたりしましたが、人づくり第一歩だと思います。夢としては、高齢者の喜ぶことをしたいと思い、ギフチョウやアサギマダラ、アゲハチョウが飛来するよう花を植えて、高齢者が見に来て集える場所を作りたいです。

(委員長)

中学生がリーダーシップをとっていけるように、そんな育ちを地域でやっていけ

るようにしていけたらいいですね。中学生が企画から運営までリーダーシップをとって、大人と中学生が関わりあって、やりがいをもてるような仕組みをどうやって作っていくかが地域学校協働活動の姿かと思っています。山田委員いかがでしょう？

(委員)

去年行ったものをふまえて、欲張らずに、少し追加したり、質を変えたりするなどやっていくといいかなと思います。

(委員)

勤務している地域のことですが、地域挙げての光秀まつりが行われ、小学生は武将隊となり、中学生は大正の衣装で街を歩いたり、受付のボランティアをしたり、職員も参加し、まちが盛り上がってよかったです。みんなが参加して楽しい思いを共有していくと、ふるさとに誇りを持てるのかなと思いました。地域学校協働活動とは、そういうことを目指しているのではないのでしょうか。学校が創立 150 周年ということで、子どもたちへのふるさと教育で山本芳翠をとりあげて 6 年生が学習をスタートしています。また各学年、地域を素材にしたふるさと学習をして地域とつながるように計画されています。恵那南高校の生徒が読み聞かせに来てくれるなど、やれる範囲のことで動き始めており、楽しみにしているところです。

(事務局)

今年度は山城サミットの関係で、岩村と明智の推進員さんにも協力していただき、子どもたちが関われるよう計画されています。

(委員長)

地域の活動に子どもたちがどう関わっていくかということが大事です。

(委員)

コロナ前は、大井町ふれあい交流会として、小学校、こども園、地域の方に声をかけ、年に 2 回、レクリエーションとしめ縄づくりをしており、中学生もボランティアとして参加していました。コロナ禍、不特定多数の参加が難しくなり、ここ 2 年は子ども教室に地域のおじさんおばさんが講師で入り、しめ縄を教えてもらう形になっています。こども園、小学校、中学校の子どもたちが集まる機会だったので、来年度以降またできるといいなと思います。

(事務局)

高齢者の皆さんもたくさん関わってくれていますか？

(委員)

そうですね。しめ縄づくりにはたくさん来てもらいました。

(委員長)

地域学校協働活動は、子どもを育てるとともに、地域活性化は大きな目的なので、地域全体を巻き込んでいくため、今やっていることを充実させて、いろんな拠点を作っていただきたいです。

(委員)

武並小学校は、学校運営協議会が始まる前から、地域の方に協力していただき、学校の教育目標にも「地域で輝こう」と挙げています。コロナ禍にも関わらず、地域学校協働活動が始まったことによって、さらにボランティアさんに入っていただきありがたく思っています。中学校区のことや、中学生になると関りが薄れるという話は確かにそう思います。一昨年度の終わりに、恵那西中校区では9月の地域防災の日に小学校区に分かれ、中学生がリードして避難所開設の計画を立てていただきましたができませんでした。小学校3校と中学校1校の連携は大事だと思うので、本年度は何とか開催したいです。

(委員長)

学校間の連携も大きな柱ですが、誰が音頭をとるかが難しいですね。

・ 恵那市家庭教育支援計画の進捗管理について

(事務局)

資料 11 ページの年間スケジュール案をご覧ください。この中で、恵那市家庭教育支援計画の進捗管理についてどのように進めていくかご説明します。2ヶ月に1度のペースで社会教育委員会を開催したと思います。昨年度から引き続きですが、1つ目の柱としては地域学校協働活動の推進について協議・審議をしていただくこと、2つ目の柱としては恵那市家庭教育支援計画の進捗管理となります。

柱1の地域学校協働活動ですが、遠藤指導員から令和3年度の取り組み報告をさせていただきますが、これをふまえて7月以降に推進の方策の審議として、実態把握や令和3年度事例の研究をグループワークや実習形式で審議を進めたいと思います。例えば9月頃には、地域学校協働活動推進員さんとの合同会議で意見を交わして行きたいと思っております。11月には推進方策の審議ということで、中間まとめを行います。市役所では11月頃から新年度予算の編成の時期に入ってきます。その際に地域学校協働活動の予算確保の重要な時期になります。「地域学校協働活動について、社会教育委員会ではこんな議論がなされており、充実していくためにこんな意見をいただいている。」ということが予算付けの根拠となりますので、この時期に取りまとめができたらと思っております。1月3月と実態把握、研究を進めて少しでも今後の充実策や方策を見出していけたらと考えております。

家庭教育支援計画進捗管理につきましては、市役所内各課にまたがって事業をやっておりますので、令和3年度の事業の成果・課題の取りまとめ作業を5月6月に生涯学習課で行い、7月の第2回委員会の際に、令和3年度の成果と課題ということで説明しますので、それに対する検証作業をお願いいたします。7月9日には検証結果を基に、どこを重点化するのか、また、どうしたらもっとうまくいくななどのご意見をいただき、令和5年度の事業への反映ということで、生涯学習課から

市役所各課へ伝達、連携する流れを作っていきたいと思います。11月には令和4年度の中間的な進捗状況の報告、3月には新年度の予算付けもできていますので、事業の説明をさせていただきたいと思っています。

このような流れと併せまして、各種行事・研修大会が予定されています。令和3年度の実績も参考にご覧ください。以上です。

(委員長)

昨年度の反省を踏まえ、今年度の流れとなっております。昨年度は、地域学校協働活動についてそれぞれが学ぶということで、今回は、実態を把握し、現場の推進員さんと交流しながら問題点などの意見を聞きながら進めてはどうか、との提案でした。今年度の計画について、副委員長さんいかがでしょうか。

(副委員長)

これでいいと思います。

(委員長)

他よろしいでしょうか。

(委員)

家庭教育推進計画の事業進捗管理の7月のところで、令和3年度事業の成果と課題の検証の資料を読み込んでから会議に臨みたいので、事前に配布してもらえますか。

(委員長)

資料がまとまったら委員さんへ配布をお願いします。

(事務局)

承知しました。

(委員)

令和3年度の6回の社会教育委員会でしたが、講演会へ参加して講演を聞いて終わりとなると、この場で意見を話し合う機会が少なかったと感じました。話し合いの場を確保しながら、研修会や講演会を組んでほしいと思います。

(委員)

事務局でまとめたものに対し、「ここを検討してほしい」と事前に課題まで示していただけると考えやすいです。

(事務局)

事前にお渡しできるよう、準備します。

(委員長)

貴重な意見をありがとうございました。以上で議題を終了します。

(事務局)

林委員長、議事・進行ありがとうございました。

続いて、連絡事項ということで、次第のその他をご覧ください。

・その他

- ・令和4年度岐阜県優良社会教育委員表彰の被表彰者の決定について  
(事務局)

県の表彰ですが、被表彰者が決定されました。昨年度末までに5年間にわたりご活躍いただいた方が対象となります。恵那市社会教育委員会からは、磯部委員、山田委員、各務委員、田口委員、昨年度末で退任されましたが松村委員が県の表彰を受けられることとなりました。おめでとうございます。表彰式の日程は後日ご連絡します。

- ・恵那市ふるさと学習読本『vol.9 恵那峡と大井ダム』の配布  
(事務局)

恵那市教育委員会が小学5年生に配布し、こちらが9号目となります。ご覧ください。

- ・第18回恵那市少年の主張大会の参加依頼について  
(事務局)

6月18日(土)に恵那文化センターで開催いたします。皆様には、中学生の熱い思いを会場でご覧いただけたらと思います。なお、林委員長には、審査委員長をお願いしております。

- ・中村いてう歌舞伎舞踏公演及び芝居小屋五毛座巡業について  
(課長)

チラシを2枚配布します。山岡町出身で恵那観光大使の中村いてうさんの公演が恵那文センターであります。三郷町の宮盛座、飯地の五毛座でも公演があります。ぜひご来場ください。

(事務局)

以上で本日予定しておりました議事及び連絡事項は終了となります。この他、連絡やご紹介がありましたらお伺いいたします。

<特になし>

磯部副委員長より閉会のご挨拶を賜りたいと思います。よろしく願いいたします。

・閉会あいさつ

貴重なご意見がでましたが、昨年度社会教育委員会では地域学校協働活動について話をしてきましたが、私の中では話はしたが具体的にどうやって地域へ入っていくか、どう伝えていくか、消化不良な部分がありました。けれど、地域学校協働活動の取り組みをまとめた冊子を見まして、ここで話し合ったことが、形として地域に表れるの

かとわかりました。事務局に敬意を表すとともに、社会教育委員の役割とは、いろいろな立場からいろいろな意見を出していくことが第一の役割かと思いました。これをもちまして本日は閉会とさせていただきます。ありがとうございました。

(事務局)

次回の日程は、令和4年7月14日(木)午後1時30分から、市役所災害対策室で開催の予定です。よろしくお願いいたします。

令和4年5月23日(月)

社会教育委員会委員長 林 達夫

社会教育委員会副委員長 磯部 彰